

校長先生から、令和2年度の修了式のお話をします。

1学期・2学期は「終業式」といいますが、3学期のさいごは「修了式」といいます。修了というのは、それぞれの学年の勉強をやり終えたという意味で、小学校の勉強をすべてやり終えたという意味の「卒業式」ほどではありませんが、今日は、1つの区切りでおめでたい日です。

そのおめでたい日に、校長先生は、あらためて児童のみなさんに（そして先生たちにも）しっかりと伝えたいです。「みんな、ほんとうによくがんばった」---実は2学期の終業式にも「みんな、ほんとうによくがんばった」と言ったのですが、そこから先にもまだまだいろいろありました。特にコロナはますます広がって「緊急事態宣言」などということになり、さいごのさいごまで学校生活から「自由」をうばいました。勉強も運動も行事も遊びも、もっともっと伸び伸び生き生きと活動させてあげたい。だけど、それができない。たくさんがまんしなければならない毎日。それが1年間つづき、まだしばらく続きそうな気配です。そんな毎日を、元気をなくさずがんばりつづけた。「みんな、ほんとうによくがんばった」---ほかにどんな言葉があるでしょう。

卒業式で6年生に伝えたことを、少しことばをやさしくして1年生・2年生・3年生・4年生・5年生のみなさんにも伝えたいと思います。

学校にとって、3月は1年の終わりで4月は1年の始まりです。

今日は修了式、1つの区切りでおめでたい日なので、美味しいものを食べさせてもらい、ゆっくりとお風呂につかってのんびりとして、ホッと一息幸せにすごせればいいなと思います。でも、いつまでもボウっとしてはもったいないので、春休みの間に、4月からいいスタートがきれるように---できなかったことがたくさんできるようになり、わからなかったことがたくさんわかるようになるように---つまり、たくさん「成長」する1年になるように---しっかりと気持ちの準備をしておいてほしいです。

みんなに持ってほしい気持ちが2つあります。

1つめは、「(よーしやるぞ!という)前向きな気持ち」です。「しんどい・だるい・やる気がしない---」そんな後ろ向きの気持ちでは、何もはじまりません。

2つめは、「(口だけで終わらず)実際に行動する=やってみる」という気持ちです。コツコツと行動を積み重ねることで、やがては大きく進めます。

わかりましたか?むずかしいかな?大切なのは、1つ=前向きな気持ち・2つ=行動する気持ちですよ。

この2つの気持ちを、卒業式では、「意志あるところに道は開ける」「千里の道も一歩から」という言葉で話しました。この言葉も覚えておいてくれると校長先生はうれしいです。担任の先生に、黒板に書いてもらってください。ぶつぶつとつぶやいてみてください。

それではみなさん、4月8日に、元気に再会できることを楽しみにしています。楽しい春休みをすごしてください。